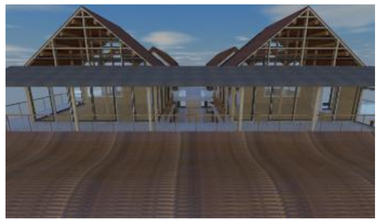
ネブーリ ～祭りと共に生きる商業施設の新しいカタチ～

プロローグ・コンセプト

秋田には様々な祭りが存在する。その中でも秋田を代表する祭りとすれば竿燈まつりである。竿燈まつりは主に竿燈大通り（山王大通り）と呼ばれる通りで行われる。竿燈祭りが行われる8月3日から8月6日まではたくさんの来場者であふれる。しかし，秋田駅前の開発などもあり，祭り以外では人の数が少ないと感じられる。駅前周辺だけでなく，中心市街地へと人口を誘導させるためにもこの山王大通りに商業施設を提案する。



来倉・来蔵のような形状

3階　観覧室内観

3階　南側席下

3階　外席下

祭りと共存する新しい商業施設のカタチ

竿燈祭りはさかのぼること江戸時代から行われている行事であり，重要無形民俗文化財にも指定されている伝統的な祭りである。しかし現在の竿灯大通りは，多くのビルなどが立ち並びどこか伝統的な町はなく祭りだけが伝統的に残っている状態である。そこで今回木造建築物を提案するにあたって竿燈祭りを楽しむことができ，かつ祭りと共存していく，とけ込むような建築物とした。普段は商業施設として人々を誘導し，祭りの際には伝統的な雰囲気を壊すことなく，祭りにとけ込むことができる。

来倉・来蔵

もともと竿燈祭りとは，竿燈全体を稲穂に，提灯を米俵に見立てて豊作を祈る祭りである。そこで伝統的な雰囲気を壊さないためにも建物全体を来倉・来蔵のような形状とし，竿燈との関連性を強める建物の形状とした。この来蔵の空間では訪れた人々が竿燈の祭りの様子を高いところから眺めることができ，これまでなかった高いところからの竿燈祭りの眺めを楽しむことができる。
（通常の竿燈祭りでは通りにロープが張られ，観覧席が設置される）

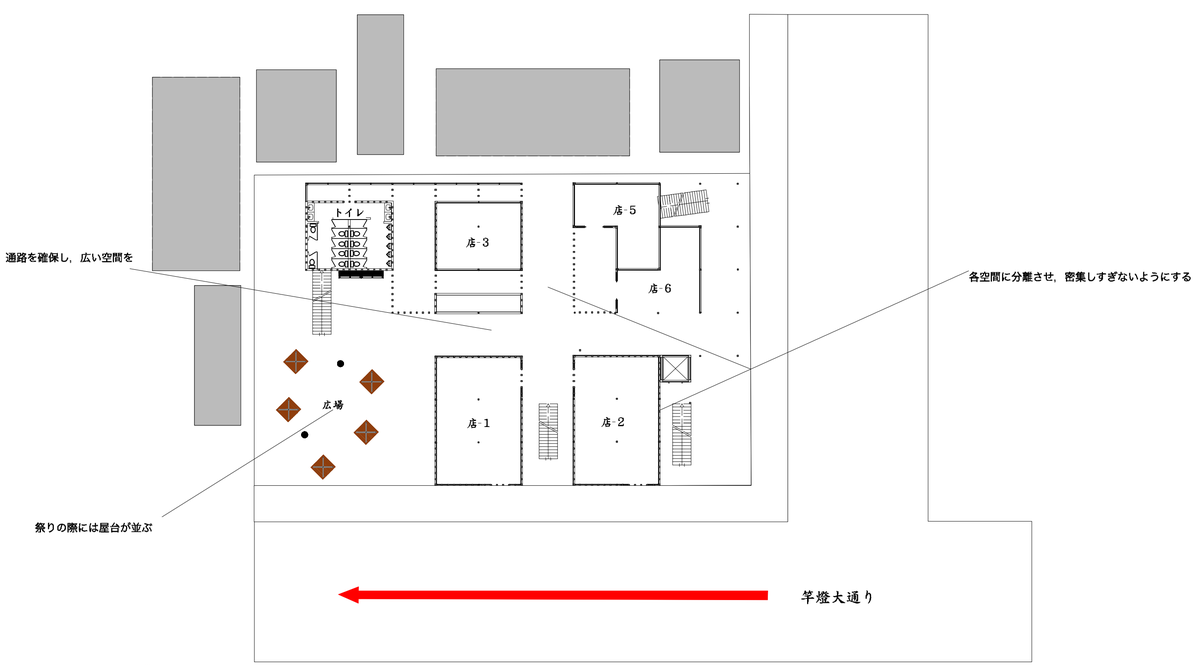
木材・木造建築で人々を誘導

これまでの商業施設では非木造や内装に木材が使用されている例は少ない。しかし，木材には温かいや落ち着くなどといった感性的な性質が多く存在する。秋田駅前の再開発からでも分かるように，人を集めるという点では木材は他の材料と比べ非常に優れている。よって木材を多く用いた商業施設とし，祭りの時だけでなく伝統的なカタチをした商業施設として人々を誘導することができる。

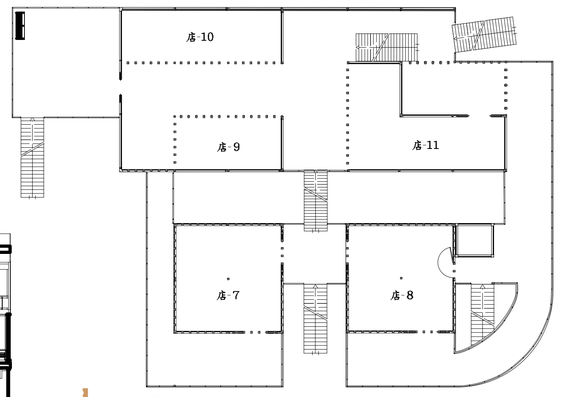
木材・木造建築によりこれまでなかった
商業施設と祭りの共存が可能に

広場

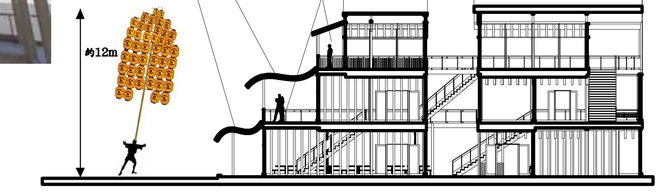
祭りが行われると必ずあるのが屋台である。屋台の周りには大勢の人が密集し，テントの中などではお酒や食事を楽しむ人が現れる。広場を設置することで祭りの際にはこのような形で人々をコントロールすることができ，混雑緩和にも期待することができるだろう。



敷地・1階平面図

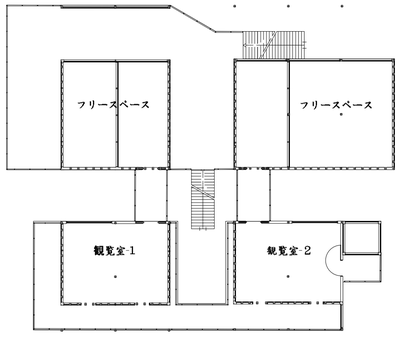


2階平面図



北ー南　断面図

東ー西　断面図



3階平面図

立面図